

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成 28 年 4 月 25 日 (N0.73)

浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所

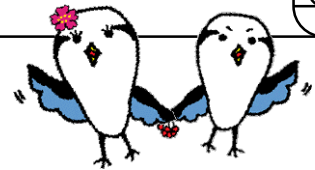


## CS推進協議会の活動

●各学園の小中一貫CS推進協議会の活動が始まりました。

浦幌学園(水野学園長)では、6～7月分のCS便りを発行し、町広報紙とともに各家庭に配布しました。

また、上浦幌学園(野上学園長)では、上浦幌学園大運動会やスマホに関する取組を始めています。



## 中教審答申「学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策」(その1)

■平成 27 年 12 月 21 日、中央教育審議会から標記の答申があり、これからのCSの仕組みの在り方が示されました。

CSは学校が抱える複雑化・困難化した課題を解決し、子供たちの生きる力を育むためには、地域住民の参画・協力が必要であり、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」へと転換を図ることが求められています。

また、学校における地域との連携・協働体制を組織的・継続的に確立する観点から、CSを一層推進する必要があります。

北海道教育委員会や十勝教育局の教育執行方針においても、コミュニティ・スクールの導入促進が示され、一層の普及が求められています。

■浦幌町では、平成 27 年から本格的に「小中一貫CS」を導入してきました。

今回の中教審答申により、本町CSの取組は、自信をもって進めることができます。

■今年度は、熟議を経て作成した「学園アクションプラン」に基づき、学校評価システムを構築します。

そのため、スクールアナリスト(木幡慶応大学准教授)、学園長(水野校長、野上校長)、白井教頭、佐藤次長補佐、CS会長で構成する「学校評価システム構築部会」を設置して事業を進めていきます。

また、6月18日(土)に行われる「教育の日実践交流会」において、スマホ・ネット依存による学力低下現象への対応についてパネルディスカッションや講演会を開催します。

### ■コミュニティ・スクールの仕組み■

学校と地域が一体となって子どもたちを育む、地域とともにある学校づくりの推進

